

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年8月2日(2018.8.2)

【公開番号】特開2017-117490(P2017-117490A)

【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2017-024

【出願番号】特願2017-36310(P2017-36310)

【国際特許分類】

G 06 F 3/041 (2006.01)

G 06 F 3/044 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/041 6 0 0

G 06 F 3/044 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月18日(2018.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カバー層と、

前記カバー層から順に配置される偏光層、第1ガラス層及び第2ガラス層を含み、前記第1ガラス層と前記第2ガラス層との間に有機発光物質を含む有機発光ディスプレイモジュールと、

前記ディスプレイモジュールの下部に付着される圧力電極を含む圧力センサと、

前記圧力センサからスペーサ層により離隔して配置される遮蔽用部材と、

駆動信号が印加される複数の駆動電極とタッチ位置を検出することができる感知信号が
出力される複数の受信電極と、

を含み、

前記圧力電極と前記遮蔽用部材との間の距離によって変わる、前記圧力電極から検出さ
れる静電容量に基づいてタッチ圧力の大きさを検出することができる、

スマートフォン。

【請求項2】

前記複数の駆動電極及び前記複数の受信電極は、前記偏光層と前記第1ガラス層との間
に位置する、請求項1に記載のスマートフォン。

【請求項3】

前記圧力センサは、前記ディスプレイモジュールの下部に付着されたとき、前記ディス
プレイモジュールと前記圧力電極との間に位置する絶縁層をさらに含む、請求項1または
2に記載のスマートフォン。

【請求項4】

前記圧力センサが前記ディスプレイモジュールの下部に付着されたとき、前記圧力電極
が前記ディスプレイモジュールの下部に接触して付着される、請求項1または2に記載の
スマートフォン。

【請求項5】

前記タッチにより前記ディスプレイモジュールが撓み、

前記ディスプレイモジュールが撓むことによって前記圧力電極から検出される前記静電

容量が変わる、請求項 1ないし 4 のいずれか 1 項に記載のスマートフォン。

【請求項 6】

前記圧力センサは、複数のチャネルを構成する複数の圧力電極を含む、請求項 1ないし 5 のいずれか 1 項に記載のスマートフォン。